

今こそ 若い力で 新しい習志野。

Report 関根ひろゆき

第三回定例会市政報告



謹啓 日頃より、私の政治活動に際し、絶大なご指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。四月の習志野市議会議員選挙に際し、多くの皆様のご支援助とご協力を賜り、おかげ様で初挑戦ながら、1926票ものご支持をいただき、38名の立候補者の中、7番目、新人としては最上位の成績で初当選の栄えを浴することになりました。頂いたご支援に報いるために、議会活動・地域活動に全身全霊で邁進して参ります。

この度、初登壇後初めての市政レポートが出来上がりましたので、ぜひお目通しの上、引き続きご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願致します。

謹白
平成27年10月吉日 習志野市議会議員 関根洋幸

現在、習志野市においては、地方創生の一環として、習志野市まち、ひと、しごと創生「人口ビジョン」、「総合戦略」の策定が進められております。平成31年度に17万4千人で人口のピークを迎え、その後緩やかに人口減少していく習志野市の今後について、どのように人口減少を食い止め、定住促進を図っていくのかを今回の質問の基本とし、習志野市の取り組みについて質問を致しました。

人口減少社会に向けた習志野市の取り組みと対策

Q 平成31年度に人口のピークを迎える本市の今後の取り組みについて伺う。

A 人口減少社会と地域経済縮小を克服、将来にわたり自立的都市経営を推進する為に「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定中。

Q 定住促進を図る上での習志野市の特性や強みは何と考えているのか？

A 買い物、交通の利便性と文教住宅都市憲章に基づく教育、文化、子育て支援、教育機関の充実。

Q 近隣市で最も多い八千代市への転出超過の原因は何と考えるか？

A 住宅価格の安さや住宅の広さが影響している。要望・転出超過の最も多い世代は子育て世代の30代、40代となっている。今後の習志野市の人口減少を食い止め、定住促進を図る上では、住宅の価格、広さ等の魅力も十分に理解できるが、それに負けない様な「住み続けたい街」、「住んでみたい街」と思っていたただける、魅力ある習志野市にするために、確かな総合戦略の策定を要望。

対近隣市	転入・転出超過状況	21年度計	22年度計	23年度計	24年度計	25年度計	26年度
船橋市		-61	205	11	-109	262	-207
千葉市		100	125	-18	56	450	-1
市川市		131	267	54	171	169	58
八千代市		-46	-103	-66	-73	-149	-112
松戸市		67	29	16	4	17	15
佐倉市		-38	-24	-20	-54	-33	1
浦安市		29	19	59	39	58	-15
流山市		-22	1	-15	1	-4	-18

八千代市への転出超過が続いている

空き家対策特別措置法の施行を受けての、習志野市の空き家対策

Q 習志野市における現在の空き家に対する対策と取り組みについて

A 空家対策協議会の設置、庁内の実施体制の整備。

Q 本市における空き家対策にて民間企業、NPO法人等との連携を図っていくのか？

A 空家等対策計画の策定作業を進める中で検討していく。

要望・他市の事例にもあるように、宅建協会や民間企業、NPO法人等と連携し、今ある空き家の解決、増加をさせない対策を要望。

袖ヶ浦団地の老朽化・定住促進対策

Q 袖ヶ浦団地の再生の取り組みについて

A 団地再生手法の一つとして改修を含んだ検討を行っている。UR、千葉工大と連携した袖ヶ浦地域活性化プロジェクトを設置。

Q 袖ヶ浦地域活性化プロジェクトでは今後具体的にどのような活動を行っていくのか？

A 空家の発生しやすい上層階を活用したシェアハウス型学生寮の設置を検討し、学生の地域活動への参加による地域の賑わいを創出する。



1967年に入居が開始され、約50年近く経過した袖ヶ浦団地

要望・URに対してしっかりと市としての街づくりを提案していき、建て替えを検討する際には、現在在住している居住者が同等の家賃で入居できる様な配慮を要望。

教育問題対策

Q 市内小中学校のいじめ・不登校の現状と取り組みについて。

A 学校いじめ防止基本方針のもと、児童生徒による自主的活動、教育相談活動の充実、保護者、地域との連携強化。

Q 教育相談活動の具体的な取り組みは？

A スクールカウンセラーを中学校全7校、小学校4校に配置しており、教育相談員も中学校全7校、小学校3校に配置している。

Q スクールカウンセラーへの相談件数と成果は？

A 児童、保護者を合わせ、毎年1000件前後の相談があり、落ち着いた生活を送れるようになった児童、保護者が多数いること。また、カウンセラーによる教職員への研修もっており、相談活動の充実を図る事が出来た。

要望・現在スクールカウンセラーが配置されていない小学校にも悩みをかかえている児童、保護者が多数いると見込まれる。全小学校にもスクールカウンセラーの配置を要望。

地域問題について

Q 仲よし幼稚園跡地（習志野文化ホール裏）に建設予定のマンションの概要、入居戸数、近隣住民への説明は？

A 44階建てマンションを建設予定であり、平成32年完成予定。入居戸数は759戸。住民説明会を行っており、説明会後の住民の方々からの要望は事業主と協議の上、個別に対応していく。

Q 向山小に通う入居児童の数、通学路の安全性は？

A 向山小で最大15学級450人。通学路については、安全性の高い通学路の採用。児童の安全について考慮し、更なる協議を重ねていく。

Q 幼稚園需要、保育園需要への対応は？

A 幼稚園需要については近隣で630人の受け入れが可能であり、保育園需要も、平成30年までに民間認可保育所が整備され、600人を超える保育の受け皿を確保予定。

要望・谷津小学校の児童数の大幅な増加の問題等もしっかりと考慮し、正確な児童数の把握、対応が出来る様に継続的な調査を要望。



マンション完成図

活動報告



習志野きらっとサンバ



東北視察



八千代市立中央図書館



谷津秋祭り・小林代議士と

PROFILE
関根洋幸 (せぎね ひろゆき)
 1986年7月13日生まれ
 谷津保健病院にて出生
 習志野市立谷津幼稚園卒園
 習志野市立谷津小学校卒業
 習志野市立第一中学校卒業
 習志野市立習志野高等学校卒業
 亜細亜大学法学部法律学科卒業
 在学中、卒業後にWestern Washington Universityに留学
 帰国後、参議院議員、千葉県議会議員事務所を経て
 衆議院小林鷹之公設秘書として勤務
 2015年習志野市議会議員初当選

ホームページ <http://sekine-hiroyuki.jp>
 発行：関根ひろゆき後援会
 習志野市谷津5-29-6

討議資料